

藤原総合文化会館検討専門部会での検討の経緯について

令和元年度より公共施設の適正化推進を目的として設置された「藤原総合文化会館検討専門部会」において、文化会館跡地利活用の検討を重ねてきた。

I 藤原総合文化会館、検討専門部会の概要、及びこれまでに検討された内容

①藤原総合文化会館の概要

延床面積(m ²)	構造	階数	耐震化(Is 値)	席数
3,158	RC	地上3、地下1	未実施(0.4)	1,222

※Is 値：建物の耐震性をあらわす指標。

【一般的な耐震性判定基準値】

・ $0.3 \leq Is < 0.6$ …震度6～7程度の地震で倒壊または崩壊する可能性がある

②藤原総合文化会館検討専門部会の概要

○設置目的

藤原総合文化会館に関しての具体的な取組内容の検討協議を行う。

【専門部会】

委員
(推薦委員)

アドバイザー(2名)

- 専門部会(部会員)の役割(令和5年度末時点:13名)
藤原総合文化会館のあり方に関して、将来を見据えて協議検討を行い、市と協働でその方向性をまとめるパートナー
- アドバイザーの役割
専門的な知識や経験を踏まえ必要な助言等を行う

○これまでに検討された内容(第8回会議まで)

会議	開催日	概要
第1回	令和元年5月	・藤原総合文化会館検討専門部会の役割 ・藤原総合文化会館検討の経緯等 他
2回	6月	・藤原総合文化会館の方向性について ・当該地の具体的事業内容の検討について
3回	7月	・専門部会の進め方について ・藤原総合文化会館解体後の跡地利用に対する市の考え方について 他
4回	12月	・藤原総合文化会館、周辺施設のあり方に関する意向調査の結果について
5回	令和2年1月	・藤原総合文化会館跡地利活用にかかる提案内容について 他
6回	6月	・前回会議までの振り返り、今後の進め方について
勉強会	令和3年11月～ 4年1月	・観光客を対象とした鬼怒川温泉駅前のあり方に関するアンケートの実施
7回	令和5年3月	・アンケート結果等を踏まえた勉強会における主な意見等について ・専門部会において検討を進める上での課題等の整理について 他
8回	令和5年7月	・前回会議の振り返り、今後の進め方について

○令和元年度から令和4年度までの会議において、合意形成が図られた事項

- ①耐震性の観点から、令和2年4月以降、藤原総合文化会館を休止する。
- ②文化会館の再編に伴う、藤原総合文化会館廃止後の跡地利活用にあたっては、住民・観光客双方が利用できるものを検討し、民業圧迫しないことを条件に公民連携を前提として進める。
→公共施設は市民活動の発表の場の確保、フリースペースを前提に検討を進める。
(美術館は除外)
→商業施設については、飲食施設を中心に物販も含めて検討していく。
(物販のみの施設、宿泊施設は除外)
- ③藤原総合文化会館の跡地利活用には、駅前全体との調和を図りつつ、藤原総合文化会館跡地、藤原図書館、鬼怒川・川治温泉旅館協同組合を含むエリアのあり方を検討する。
- ④藤原総合文化会館の跡地利活用に向けた検討においては、観光情報機能を駅前に残すことを前提に議論を進める。

II 令和5年度の実施について

令和5年度に開催した第9回会議では、公民連携によって、整備・運営されている施設を参考に、駅前整備検討の視点を整理し、今後の実施について以下の内容で合意が図られた。

●今後検討する視点

- | | |
|---------------------------|--------------|
| ①民間施設及び公共施設の一体的な整備 | (既存施設の再構築) |
| ②施設の有効活用に向けた市民との協働 | (新たな価値の創出) |
| ③周辺施設を含めたエリアマネジメントによる運営体制 | (整備後の施設有効活用) |



●今後の実施

- ①・既存施設の再編については、(一社)日光市観光協会鬼怒川・川治支部、及び鬼怒川・川治温泉旅館協同組合との協議を進めるとともに、藤原図書館利用者等の意見を伺うことで対応を進めていく。
・広場については、市民の憩いの場だけでなく、鬼怒川温泉の玄関口として観光客へ魅力をアピールできるよう新たな価値を創出するため、専門部会(新委員会)においてご意見をいただく。

- ② 令和元年度より検討を行ってきた「藤原総合文化会館検討専門部会」の名称、目的を変更し、新たな委員を加え、鬼怒川温泉駅前活性化を主として検討を行う委員会を結成する。

新組織名称(案) : 鬼怒川温泉駅前再整備検討市民委員会

設置目的 : 鬼怒川温泉駅前の整備に当たり市民の立場から幅広く必要な意見を求めるため

想定する新たな委員 : 東武鉄道(株)、日光交通(株)、(株)鬼怒川タクシー、図書館協議会

※藤原図書館の検討を進めること、鬼怒川温泉駅前周辺のまちづくりを進めることから、事務局に生涯学習課、都市計画課、維持管理課、藤原行政センターを新たに加える。

- ③ 施設整備後の有効活用に向け、鬼怒川温泉駅前関係団体との連携強化を目指し、民間活力の導入も視野にいれ、施設の有効活用を図る。